

令和4年度 「自己評価」

【本園の教育目標】

こころのねっこを育てる ～自らやることで学ぶ～

☆ひまわりコンセプトブック・各学年の教育課程を元に、「自ら行うことで学ぶ」直接体験・自然体験を保育の軸に、「げんき・ゆうき・えがお」が溢れる日々の保育を目指す。

【令和4年度 重点目標】

- ①自主性を引き出す（自分で見つけて自分で気付く）
- ②保育の見える化（日頃の様子が見えるように）
- ③目を見て元気なあいさつ・返事（基本の徹底）
- ④保護者に積極的に子どもの様子を伝える

【令和4年度 重点目標】〈反省〉

☆副園長、主幹教諭、各チーム担任（正規職員）でR4年度3月末に実施

①自主性を引き出す（自分で見つけて自分で気付く）

【KEEP】

ぞう→自分で考えて動けるように声かけ、きっかけ作りができた

くま→廃材遊び、ゴミ拾い、椅子の準備、活動の準備を考える

うさぎ→自分たちでしたいことを決める、時間を見てお友達同士で声かけ。

紹介タイムで自分らしさ、発表ができた

乳児→0、1、2ともに自分で選べる環境

自分だけでなく回りにいる子たちへのアプローチができていた

【PLOBLEM】

ぞう→何事も1回保育者に確認する→質問がえし

くま→自分で考える時間、子どもの声を聞く時間が不十分

うさぎ→1年間で伸びた子もいるが、また発揮しきれていない子もいる

乳児→子どもたちそれぞれみんなに声をかけられるように

②保育の見える化（日頃の様子が見えるように）

【KEEP】

ぞう→ひまわりいっぱい、行事サポーター

くま→参観日で日頃の様子を伝える

うさぎ→ひまわりいっばいで書いた内容に反応があった

乳児→お便り、連絡帳、登降園時の保護者との会話

【PLOBLEM】

ぞう→子どもたちが楽しかったことを言えるような環境づくり・声かけ

くま→ひまわりいっばいの配布

うさぎ→会えるお母さんと会えないお母さんとの関わりの差がすごくあった

乳児→タイムリーな保育の見える化がしたい

③目を見て元気なあいさつ・返事（基本の徹底）

【KEEP】

ぞう→元気なあいさつ

くま→返事ができる子が増えてきた。声が多くなった。部屋に入って挨拶の徹底

うさぎ→部屋でも大きな声であいさつができるようになった

乳児→だんだんとできるようになった

【PLOBLEM】

ぞう→返事が「うん」が多い。早く切り替えれるように取り組めばよかった。

くま→入口でのあいさつ（目を見て姿勢をよくする）

うさぎ→大事な話をするときに目が合わない

乳児→先生の真似をして喜ぶ姿（ごあいさつ、返事）

☆今後の取り組み

- ①家庭でもあいさつ・返事の徹底の働きかけ
- ②先生たちも共通のあいさつをする

④保護者に積極的に子どもの様子を伝える

【KEEP】

ぞう→お迎えの時の会話

くま→いいことも、その子の課題も伝えることができた

うさぎ→連絡帳の活用方法を保護者会で伝えたところ、家でも様子を伝えてくれるようになった。

乳児→毎日の連絡帳、登降園での会話

（シフトにより職員が一定でないので、毎日の記録の確認・報告→LINEで共有）

【PLOBLEM】

ぞう→差があるので均等に

くま→連絡帳を書いてない人へのアプローチ

うさぎ→子どもへの幼い接し方の改善の仕方を伝えきれていない

乳児→KEEPの徹底

学年ごとの参観日の実施

令和5年度に向けてのアクションプラン

☆重点目標に対する反省と、保護者アンケート「我が園の評価」を確認しながら正規職員（園長・副園長・主幹教諭・各チーム担任）で来年度のひまわり幼稚園としての重点目標を話し合い決定した。

〈子どもたちに対して〉

- ・注目を集める工夫
- ・自分の想いを言葉で伝えられるように
（一人一人の子が想いを出せる言葉がけ）
- ・ケジメをつけた行動を

〈保護者に対して〉

- ・家庭の姿を引き出す
- ・子どもができたことを伝える→安心につなげる
- ・保護者をねぎらい、認める
- ・日頃の様子を伝える（その子の課題を伝え、家でもやってもらう）
- ・ひまわりいっぱいの電子化

【その他】

- ・砂場、廃材を環境構成（遊べる環境づくり）
→旧くまの部屋を遊べる部屋（廃材や道具がいっぱいの部屋）
- ・提出物の電子化（Google フォームの活用）

【令和5年度 ひまわり重点目標】

1 ひまわり ICT 化計画

- ・ ひまわりいっぱいをキッズリーで配信、インスタの活用（絵本会だよりのような）
- ・ 提出物を紙から電子化（Google フォームの活用）
- ・ ICT 部を作る

2 目を見て元気なあいさつ・返事

- ・ 家庭でもあいさつ・返事の徹底の働きかけ
- ・ 先生たちも共通のあいさつをする

3 自主性を身につけ、主体性を育む

- ・ 年長になったときに主体性を発揮できるように各学年ごとの保育観の確立
- ・ 自主性、主体性を育むための活動内容、生活の仕方の確立
- ・ 常に意識し考える

4 保護者に子の様子を伝え、家庭の様子を引き出す

- ・ 保護者に対して、平等な関わり
- ・ タイムリーなひまわりいっぱいの配信（キッズリーの活用）
- ・ 伝えるだけでなく、家庭での様子を引き出すような会話